さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

中央・田富小

民俗芸能「粘土節」学習

治水の歴史 次世代へ

「粘土お高やんが～」。釜無川と笛吹川に挟まれ、昔から水害と闘ってきた中央市田富地区に伝わる市の無形文化財「粘土節」。田富小（相馬真人校長）は長年、地域に伝わる民俗芸能を総合学習に取り入れるなどして継承活動に取り組んでいる。

粘土節は歌と尺八、踊りを組み合わせた芸能。度重なる釜無川の水害の歴史の中から生まれた作業歌で、田富地区で古くから歌い継がれてきた。1885（明治18）年の台風による大雨で釜無川が氾濫し地域総出で堤防工事をした際には、「お高」という女性が作業員たちを美しい歌声で励ましたという伝承もある。1981年に旧田富町の無形文化財に指定された。

田富小では、粘土節保存会の指導を受けるなどして、80年代から粘土節を運動会や地域の行事で披露。2013年度以降は、3年生の総合学習に取り入れている。

昨年度は、お高やんの像がある市内の妙泉寺などを訪ねて地域に伝わる歴史を学習。運動会では「全国版粘土節」と現代風にアレンジした「粘土節ロック」を披露した。歌詞や堤防づくりの道具などテーマごとにグループ学習にも取り組み、年度末に2年生や保護者らを前に発表。保存会に指導を受け、かすりの着物や草履などを身に着けて踊る「正調粘土節」を披露したグループもあった。

お高役を務めた4年の河西理桜さんは「衣装がきれいでうれしかった。家族や下級生にも伝えていきたい」と感想。4年の芦沢俐乃さんと池川絆さんは「学習を通して、昔の人が大変な苦労をして堤防をつくり地域を守った歴史が分かった」と話している。

〈桑原久美子〉

（2023年12月16日付 山梨日日新聞19面）

衣装を着て粘土節を披露する児童＝中央・田富小

問1

「粘土節」は、何川と何川に挟まれた何市の何地区に伝わる無形文化財ですか。

・＿＿＿＿＿＿川と＿＿＿＿＿＿川

・＿＿＿＿＿＿市の＿＿＿＿＿＿地区

問2 田富小は、総合学習に何を取り入れるなどして、継承活動に取り組んでいますか。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問3 粘土節に関係する「お高やんの像」は、どこにありますか。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問4 児童は、学習を通して、どのような歴史が分かったと話していますか。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.